

式辞

例年にない厳しい冬もようやく終わりを告げ、太陽の日差しも力強さを増し、春の訪れを感じられる今日のよき日に、

本校PTA会長、小関進也（しんや）様、そして副会長のお二人をお迎えして、保護者の皆さまご臨席のもと、ここに卒業式を開催しますことを、心からうれしく思います。

この一年を振り返ってみると、創立十年目の大森小学校を、より盛大に、より華やかに・・・、そんな「思い」や「願い」を持つてのスタートだったはずが、突然訪れたコロナの時代・・・。

年度の初めは、「休校」、そしてその後も「分散登校」と、今まで経験をしたことのない制限下の中で、学校生活が始まりました。

今では少し懐かしくも感じますが、「できないこと」「制限されること」が続き、本当に厳しい日々が続きました。

その中でも私たちは「できない理由を言う」のではなく「できる可能性を探す」ことを信念として取り組んできました。

卒業生の皆さんも、決してあきらめることなく、「今できること」「自分たちにできること」を考えて、新しいことを生み出す努力を続け、学校生活や行事を工夫しながら成功させてきました。

「アイディアを出し合い開催した一年生を迎える会」「今までにない創意工夫の運動会」「協力し合って考えながら実施した全校芋煮会」等々・・・、この

前向きな思い、そして取り組みこそが、大森小学校の勢いであり、これから皆さんが生きていく予測可能な社会の中においても、「生きぬく力」「本物の生きる力」であると確信します。

おそらく皆さんがこれから過ごす近未来社会は、様々な世界的な課題を乗り越え、飛躍的な発展と超利便性の高い生活が実現されていくことでしょう。

しかし、そんな便利な世の中が待っていないようにも、皆さんに「忘れないでほしい三つのこと」を話します。

一つ目は、皆さんが元気に卒業の日を迎えることができるのは、自分自身の努力の賜物であることは言うまでもありませんが、どんなときにも、皆さんを温かい愛情で包み込み、常に勇気づけの言葉をかけて、優しく背中を押してくれた家族の存在があったということなのです。

二つ目は、時には優しく、時には厳しくご指導してくださいました先生方がいたことです。

そして、三つ目は、常にそばにいて、一緒に喜びあったり、悲しみを分かち合ったりしてくれた仲間がいたことです。

「人は人によって生かされる。」

大切なのは「周囲への感謝の心」です。

絶対に「忘れないでほしい」大切な思いです。

さてこの度、卒業の日を迎えた皆さんに、右手のスクリーンに一枚の写真を見せましょう。

ここにいる誰もが知っているディズニーリゾートのキャラクター、「ミッキーマウス」です。

このキャラクターを誕生させたのは、この写真の「ウォルトディズニー」という人です。

「ウォルト」は十九歳からアニメーションを手掛け、一九二八年、今から九〇年ほど前にミッキーマウスを誕生させました。さらに、壮大な夢であった大人も一緒に楽しめる「夢の国ディズニーランド」を作り上げました。

そんな夢の国を作ったウォルトですが、成功続きの人ではありません。

会社の倒産、莫大な借金など、たくさんの苦労や失敗という苦難の中でもくじけず「夢を追いかける努力をしてきた人なのです。

「人々に幸福を与える場所、大人も子供も、楽しい思い出を作ってもらえる夢の国を創りたい」・・・その強い情熱と想い、転んでも立ちあがって明るくつき進むその姿勢。

それが、夢の国ディズニーランドの成功につながったのではないかと思います。

そんな、失敗を繰り返しながらも、あきらめず夢を追いつけたウォルト・ディズニーの言葉は、今でも多くの人々に夢や希望、勇気を与えてくれています。

(少し紹介をしてみました)

◇ 夢を求め続ける勇気さえあれば、すべての夢は必ず実現できる。

忘れないでほしい。すべては一匹のねずみから始まったということ・・・。

◇ 夢をかなえる秘訣は、四つに集約される。

それは、「好奇心」「自信」「勇気」そして「継続」である。

◇ 人生で経験したすべての失敗、トラブル、障がい
が私を強くしてくれた。

◇ 「感謝の心」が、自分の成長につながった。

など、様々、共感したい言葉が、「ウォルト」からはたくさん発信されました。

それをどう自分で受け止め、自分の心のエネルギーにしていくかは、人それぞれ・・・。

卒業生の皆さん、「ウォルト」の言葉は常に私たちに「夢を持って」「失敗は恐れるな」と教えてくれているような気がします。

ウォルトディズニーの言葉は、偶然にも、保護者の皆様に配布されている教育委員会からのメッセージにも紹介され、「夢や希望を持つことの大切さ」について紹介してくれています。

ぜひ、あとで読んでみてください。

今は、コロナ禍で、思い通りにならない世の中ですが、卒業生の皆さんには、中学校生活で、目標（夢）を持って、充実した学校生活を送ってくれることを期待しています。

大きな夢でも小さくやかな夢でも、皆さんの考えた

夢は皆さんを支え続けます。

夢が皆さんの未来を輝かせてくれるでしょう。

「自信とは自分を信ずる」と書きます。

これから始まる中学校生活、楽しいこともたくさんあるでしょうが、辛い時もあるでしょう。

でも、努力は皆さんを決して裏切りません。

「夢」を持つことを大切に、「夢」を追うことをあきらめずに、夢の実現に向けて、「自分を信じてつきすすんでほしい」と思っています。

終わりになりますが、保護者の皆様

お子さんのご卒業を心からお祝い申し上げます。今、お子様のりりしい姿を見て、その成長ぶりに感慨ひとしおのこととお慶び申し上げます。

私も、卒業証書を手渡しながら、子どもたちとの思い出が様々浮かんできて、万感迫るものがあり、これからの人生に幸あれと祈らずにはいられません。

保護者の皆さま、これから中学校に進み、心の悩

みや葛藤も多くなるお子様への心配事は尽きないと思います。一歩一歩、自立していく姿をしっかりと見守り、いつでも正面から向き合って話のできる親子関係を大事にしていたただきたいと願っています。

これまで、本校の教育活動にお力添えいただきましたことに対しましても改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。

卒業生の皆さん

今日で皆さんはこの小学校を卒業しますが、今日は明日からの出発点でもあります。

平成の時代に生まれ、令和の時代、さらに次の時代をも生き抜く皆さんの明るい未来に、心からエールを贈り続けたいと思います。

私たち大森小学校教職員はいつの時も皆さんの応援団であり続けます。

結びに、卒業生一人一人の健康と、更なる活躍を心より祈り、令和二年度卒業生に贈る「式辞」といたします。

卒業、本当におめでとう。

令和三年三月十八日

東根市立大森小学校 校長 土屋常義